

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

SDGs達成に向けて、ワークライフバランスが取れ、ハラスメント等の無い働く人全員が働きやすい環境を従業員と共に作りあげ、技術と人間力のさらなる向上を目標とする。
また、環境問題や地域社会の問題にも積極的に取組み地域社会とともに生きる会社を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	事業所における産業廃棄物の排出量の削減	2023年(年間 31,420kg) → 2026年(年間 29,849kg) -5%(2023年比)
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	長時間労働の抑制の為にノー残業デイの実施	2023年 週1回 → 2026年 週2回
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	人種・性別・年齢を問わない新規雇用の実施	2023年 0人 → 2026年 2人

<パートナーシップ>

ニーズに合った的確な商品を提供するため、企業間の連携の強化、情報の共有を行い、付加価値の高い商品の安定した供給を行う。また、企業内部においても、従業員一人ひとりの状況に応じ、働きやすい職場環境の整備を図る。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。